

湯図ぴあ ～ヌートピア～

湯本高校図書館だより
湯本高等学校図書館
(令和2年年5月発行)



* 図書館では、購入した本や読書関連のイベントを紹介する図書だより【湯図ぴあ】を月1回発行していきます*



登校日臨時貸出のお知らせ



休業期間中、皆さんは家でどのように過ごしていますか？

読書は気分転換にもなり、またいろいろな考えを深め広げるきっかけにもなります。

一日の中で本とともに過ごす時間を作ってみたいはいかがでしょうか？

●図書館では登校日に開館し、臨時貸出を行います。

●貸出冊数：何冊でもOK

※貸出期間は2週間ですが、その日が休業期間の場合は学校再開日の翌日とします。



ぜひご利用ください！



図書委員のおすすめ本を紹介！

※3月に掲載予定だった
原稿です。

『赤い指』 東野 圭吾／著

「もし、自分の子どもが人を殺めてしまったら、あなたならどうしますか？」

この問いについて、以前の私なら答えを出すのは難しかったと思います。ですが、この本に出会い、ある家族が導き出した結末に、私は正解の一つを教えられました。

自分の子どもが罪を犯し、それをどうするか。無関係の人間に押し付けるのか、子どもを守る為ならば、自分の母親でさえ犠牲にするのか。この本で私は、【家族の本当の愛】と【偽りの愛】を知ることができました。

『言い訳 関東芸人はなぜM-1で勝てないのか』 塙 宣之／著

漫才日本一を決める大会「M-1 グランプリ」。芸人のエントリー数が最多のこの大会で頂点に立ってきたのはだいたいが関西芸人です。この新書では、何故関西芸人が勝ちやすいのかをナイツの塙さんが解説しています。

関東と関西における漫才の価値観の違いや芸人が大切にしている「間」とは何か分かり、なんとなく感じていた漫才の面白さを改めて知ることができます。対話形式で読みやすい一冊ですので、ぜひ読んでみてください。

『五分後の世界』 村上 龍／著

主人公「小田桐」は子どもの頃から様々な犯罪をし生き延びてきた。そんな小田桐が別荘地の近辺をジョギングしていると唐突に意識を失ってしまう。目を覚ますと、ぬかるんだ獣道を見知らぬ集団と一列になって歩いていた…。辿り着いた建物では【準国民】になるための審査が行われており、そこで初めて、小田桐は自分が今いる場所が元の日本ではないことに気づく。そこは、第二次世界大戦において降伏せず、地下ゲリラとして国連進駐軍に抵抗を続ける日本国【五分後の世界】であった。

『君は月夜に光り輝く』 佐野 徹夜／著

この物語は主人公の卓也と不治の病【発行病】で死が近づくにつれて体が光る、まみずの恋愛小説です。

ある日卓也は、まみずが大切にしていた“スノードーム”を壊してしまいます。そこで弁償する代わりに、まみずの「したいことリスト」を代行することになります。

ここから二人の関係がどのように変化していくのか。また、最後の頼み事を終えた時、まみずはどうなるのか。ぜひ読んでみてください。